

■令和4年度 第1回空家座談会を開催しました！

日 時：令和4年7月8日（金）午前9時～10時

場 所：隈公民館（大字宮崎）

参 加 者：若杉会サロンの皆さん

人 数：8名

【内容】

●カードゲーム

講師：一般社団法人 住教育推進機構 井上 静夫氏、山城 京子氏

- ・講師2名による進行で、カードゲームが行われました。
- ・「空き家・空き地相談窓口」川添理事長、島崎氏も参加していただきました。

カードゲームのルール

- ・4～6人程度を1つの班とします。（今回は、2班に分けました）
- ・赤、青、黄のカードを自由に選択します。答えたくないカードは選ばなくてよい。
- ・その質問に対し、自分の考えを言います。（選択肢があれば、その中から選ぶ）
- ・話を広げます（アドバイスなども聞く）
- ・否定をしません。（他人の意見を聞く）

質問．近所の学校が廃校に。今後どうなる？

A：廃校のまま B：公共施設になる C：解体
（意見）

- ・B、高齢者や地域で使ったらよいのでは。
- ・C、子供の頃の思い出がなくなると寂しい。

（講師より）

廃校になるのと空家が増えるのは同じ問題。
少子高齢化で家が余っている。



質問．高齢のご夫婦が亡くなられたらどうなる？

（意見）

- ・自分の家は子供が1人で住むと思うが広い家、庭の手入れが大変だと思う。
- ・近所の家はお母さんが入所して10年前から空家だが、娘さんがちゃんと手入れをしている。
- ・自分の家は大きいから娘1人では維持できないのではないかと。
- ・なかなか子供、家族と将来のこと、家のことについて話せない。

（講師より）

- ・私は14年間大阪に住んでいたが、東日本大震災をきっかけに考えが変わり、実家に戻ったら、素晴らしい景色が見えて、そこで田舎の良さに初めて気がついた。子供さんも将来について色々と考えているかもしれない。



<カードゲームで出た意見>

○家を長持ちさせるためにしていることはあるか？なぜ手入れをするのか？

→雨樋や瓦の手入れをしている。

→リフォームをした。

→やっぱり自分の家には愛着があるから手入れをする。

○子供さんと今の家で一緒に住みたい？

→子供や子供のお嫁さんが気をつかうだろうから、一緒に住みたいとは思わない。

→今は女性も働き、それぞれ個人個人の仕事や生活リズムがあるから気をつかう。

→なかなか子供や家族とも将来や家のことについて話せない。

○空家活用について

→公民館は少し遠いので近所でちょっと集まれる場所があればうれしい。

●「空き家・空き地相談窓口」のご紹介

ありあけ不動産ネット協同組合 理事長 川添 健一 氏

【感想】

地域の方のご協力もあり、今年度1回目の空家座談会を無事、開催できました。サロンで毎月開かれるよかばい体操の前に座談会を開催させていただいたため、時間は短かったものの、少人数で密度の濃い話ことができました。

座談会では、ご自宅をよく手入れされているというお話もあり、大事な想いのこもった我が家や実家だからこそ早めにご家族でお話をしていただきたい、そのきっかけづくりのためにもっとこの座談会を広めていきたい、と改めて思いました。

「空家座談会」、今年度も絶賛募集中です！地域の皆さんや親子など、幅広い世代でのご参加をお待ちしています。お気軽に建築住宅課(0944-41-2787)までお電話ください！！

<T. N>

